

2023.11.13

公衆衛生学教室トピックス

当講座の野田愛 前任准教授、谷川武 主任教授らの共同研究グループによる成果が順天堂大学HP ニュースに掲載されました

約11年間の観察研究で、生活を楽しんでいる意識が高いと、要介護認知症（以下、認知症）のリスクが低いことを明らかにしました。本研究ではさらに、自覚的ストレスが高ければ、生活を楽しんでいる意識が高くても認知症リスクは低下せず、特に、脳卒中既往のない認知症リスクが低下しないことも明らかにしました。本成果は、自覚的ストレスをコントロールしながら、生活を楽しんでいる意識を持つことが、将来の認知症の発症予防に重要であることを強調するものです。本論文はThe Journals of Gerontology. Series B, Psychological Sciences and Social Sciences誌のオンライン版に2023年9月18日付で公開されました。

<https://www.juntendo.ac.jp/news/16198.html>